

解 答 速 報

関西医科大学（前期） 英語

2022年1月29日実施

I	1	①	O	②	X	③	O
		④	X	⑤	O	⑥	X
	2	(1)	for	(2)	for	(4)	with
	3	素早く通過する（さっさと通り抜ける）					
	4	the risk of infection due to the coronavirus pandemic					

II	1	[A]	6	[B]	2	[C]	1	[D]	10	[E]	9
		[F]	4	[G]	5	[H]	7	[I]	8	[J]	3
	2	(1)	in	(4)	of	(7)	by				
		(9)	for	(10)	at						
	3	(2)	up	(3)	to	4	fed	5	forefront		
	6	animal		7	between						

III	1	①	X	②	O	③	X
		④	X	⑤	O	⑥	O
	2	on	3	認知症			
	4	those who are intended to benefit from					
	5	stress, burnout					

*略解版にて大問IIの設問5の解答に間違いがありました。受験生の皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

〈〈 模試・講座のご案内 〉〉

医学部進学予備校 **メビオ** では **[後期] 模試 / 後期攻略講座** を実施します

※詳細は最終面をご確認ください

<解説>

I

1[内容一致・不一致] 「本文に従い、以下の文が正しければ“O”を、間違っていれば“X”の文字をそれぞれ自分の解答用紙に記入せよ」

- ① O「日本の関東地方以外で、公共の交通機関の中には障がい者割引のある IC カードを提供しているところもある」
第 2 段落第 1 文に「日本の障がい者と付き添いの介護者は運賃の 50%割引を受ける資格がある。しかし、他の多くの地域とは異なり、首都圏ではこのような割引運賃に対応した IC カードはない」とある。また、第 17 段落に「日本の主な鉄道会社である、日本旅客鉄道(JR)は国内のどの路線でも障がい者割引のある IC カードを提供していないが、関東地方以外のその他の会社の中にはすでに提供しているところもある」とあり、この文内容は正しい。
- ② X「障がいのある子どもとその親が JR 千葉駅から豊洲駅まで移動するのにかかる時間を計測する実験で、出発駅の改札を通ったときから到着駅の改札を出るまでにかかった時間を計測した」
第 6 段落第 1 文に「乗客が目的地へ向かう電車に乗ったときに時間を計測し始め、到着地の改札を出た後に計測を終えた」とあり、出発駅の改札を通ったときではなく、電車に乗ったときに計測を始めたので、この文内容は誤りである。
- ③ O「上記の選択肢の②で書かれている実験において、障がい者とその介護者の方が、健常者よりも帰りにかかった時間は 21 分長かった」
第 7 段落に「健常者と比較すると、障がい者とその介護者は行き移動で 35 分、往復で 56 分余計にかかったと判明した」とあり、行きで 35 分、往復で 56 分なので、帰りでは 21 分だとわかり、この文内容は正しい。
- ④ X「日本の首都では、障がい者と付き添いの介護者が割引なしで IC カードを使って電車に乗ることはできるが、そうすると 50%の払い戻しを受ける権利は無効になる」
第 11 段落に「障がい者は一般的な IC カードを使って改札を通り、電車に乗ることはできるが、最後には電車から降りて払い戻しを受けるためには駅員のいる改札や切符売り場を探す必要がある」とあり、駅員のいる改札か切符売り場にまで行けば払い戻しを受けることができるので、権利までは失っておらず、この文内容は誤りである。
- ⑤ O「障がい者割引のある IC カードは日本中の日本旅客鉄道(JR)によって運行されている電車では利用できない」
第 17 段落に「日本の主な鉄道会社である、日本旅客鉄道(JR)は国内のどの路線でも障がい者割引のある IC カードを提供していないが、関東地方以外のその他の会社の中にはすでに提供しているところもある」とあるので、この文内容は正しい。
- ⑥ X「東日本旅客鉄道は近い将来、障がい者割引のある IC カードを提供することを約束している」
最終段落に「しかし、大規模なシステム変更をし、路線を共有している他の鉄道会社との調整をしなければならぬため、そのような IC カードを導入するのは非常に難しいとその会社(東日本旅客鉄道)は主張している」とあるので、この文内容は誤りである。

2[空所補充] 「空所(1), (2), (4)を最も適切な英単語で埋め、各文を完成させよ。」

- (1) “For most, the convenience of riding trains with the swipe of a smart card is taken for granted.”
「ほとんどの人にとって、IC カードを読み取らせて電車を利用することの利便性は当然とされている」
take ~ for granted 「～を当然のこととする」
- (2) “Japan’s disabled, as well as accompanying caregivers, are eligible for 50% discounts on train fares, ~”
「日本の障がい者と付き添いの介護者は運賃の 50%割引を受ける資格がある」
be eligible for ~ 「～の資格がある」
- (4) “~ said a 48-year-old Chiba woman who took part in the group’s test and has a child with an intellectual ability.”
「その実験に参加した、障がいを持つ子供をかかえる千葉在住の女性は～と言った」
「所有」を表す前置詞 with が入る。

3 [部分和訳] 「下線部(3)の語句を和訳せよ」

<breeze past ~> で「～をさっさと通り抜ける」「～を軽快に通過する」という意味である。

4 [語句抜粋] 「移動の際にこうむる不都合に加えて、障がいのある乗客が、障がい者割引のあるICカードがないために直面するもう一つの懸念は何か。文中から9語の語句を抜き出して英語で答えよ」

第15段落に、Aside from being frozen out of the digital age of convenience for train transport, disabled people also worry about the risk of infection due to the coronavirus pandemic ~ 「デジタル時代における電車移動の利便性から締め出されることに加えて、障がい者はまたコロナウィルスのパンデミックのために感染のリスクがあることにも不安をつのらせている」とある。

II

1 [語句挿入] 「カッコ[A]から[J]に入るものとして最も適切なものを以下の選択肢から選び、1から10の番号を解答欄に書け」

[A]: 6. “miss consuming honey” 「ハチミツが食べられないのが寂しい」

空所直前に“As a vegan myself”とあることから、空所にはヴィーガンに関する記述が入ることが予想できる。次に、第2段落第1文 “It’s not unusual for vegans to miss certain foods.”, および同段落第2文 “What is unusual, though, is Mr. Mandich’s solution: to create a type of honey, ~ produced without involving any bees at all.” に注目する。そのおよその意味は、「ある食品が食べられないのはヴィーガンにとって珍しいことではない。だが、珍しいのは、マンディッチ氏がとった解決策であり、それは～一切ミツバチを関与させずに生産されるようなハチミツを作り出すことである」である。以上より、ヴィーガンであるマンディッチ氏はハチミツが食べられず、その代替品を作り出したと判断できることから、空所には 6. “miss consuming honey” 「ハチミツが食べられないのが寂しい」が入る。

[B]: 2. “do the work” 「作業を行う」

空所を含む英文全体のおよその意味は、「ハチミツの第一の構成要素を作る～微生物を用いて、我々はそれを実験室で再現しているのです」である。空所直後に“of building ~”と書かれていることから、空所に入る語句の末尾には“of building ~”によって修飾される名詞が置かれていることが予想できる。また、空所直前に“micro-organisms which”と書かれていることから、空所に入るのは「微生物が行うこと」であると判断できる。以上から、2. “do the work” 「作業を行う」が入る。

[C]: 1. “create a different end product” 「異なる最終製品を生み出す」

第4段落の空所を含む英文全体の内容に注目する。そのおよその意味は、「しかし、微生物を慎重に調整し、適切な供給原料を選定することにより、ハチミツから卵白や牛乳など、あらゆるものを～することが可能となる」である。第3段落が「微生物が特定の食品の生産に役立つ」と書かれているのに対し、ここでは、その微生物をあらゆるものに応用できるという内容が書かれていることがわかる。したがって、1. “create a different end product” 「異なる最終製品を生み出す」が正解となる。ここでの“end product” 「最終製品」とは、製造企業の生産過程で最後に位置する製品を指す用語である。end を用いた類似表現として、“end user” 「最終消費者(=企業が生み出した商品を最終的に使用する消費者)」も併せて知っておくとよい。

[D]: 10. “tweak the yeast” 「酵母を微調整する」

第10段落の空所を含む英文全体の内容に注目する。そのおよその意味は、「それ(=酵母発酵)がどう機能するかというと、我々が酵母をビールの醸造に用いるような方法で酵母を活用することができるのである。しかし、～ことで、ビールを生み出すのではなく、酵母に生産してもらいたいと我々が考えるものを酵母が生み出すようになるのだ」である。つまり、酵母はビールの醸造に用いられるのが通常であるところ、その酵母に人の手を加えることでビール以外のものも酵母が生産できるようになる、ということである。したがって、空所には 10. “tweak the yeast” 「酵母を微調整する」が入る。tweak は「～をつねる、～を微調整する」という意味であり、受験生にとって馴染みのない語であるが、酵母に関する話題が繰り返されていることが正解のヒントとなる。

[E]: 9. “produce egg whites” 「卵白を生産する」

第12段落の空所を含む英文に注目する。そのおよその意味は、「同様の技術が～ために用いられており、サンフランシスコを拠点とする Clara Foods 社は、大量生産を目前としており、2028年までに世界最大規模の卵タンパク質の生産者になることを目標としている」である。直前の第11段落までは「酵母を用いて様々な食品を生産する」という内容が書かれており、それと同様の技術が卵タンパク質でも活用されていることがわかる。したがって、空所には 9. “produce egg whites” 「卵白を生産する」が入る。

[F]: 4. “have environmental benefits” 「環境上の利点を有する」

第14段落の空所を含む英文に注目する。そのおよその意味は、「(微生物の培養を通して作られた製品は、ヴィーガンを幸せにするだけでなく、～)である。また、直後の第15段落の “meat and dairy ~ account for about 14.5% of global greenhouse gas emissions.” にも注目する。そのおよその意味は、「肉と乳製品とは～全世界の温室効果ガス排出の14.5パーセントを占めている」である。つまり、微生物の培養を通して肉や乳製品の代わりとなるものを生産することで、温室効果ガスの削減にも役立つということがわかる。したがって、空所には 4. “have environmental benefits” 「環境上の利点を有する」が入る。

[G]: 5. “meet the rising demand” 「高まりつつある需要を満たす」

第17段落第1文の空所を含む英文に注目する。そのおよその意味は、「世界中におけるハチミツに対する～ために、商業上のミツバチの飼育ではある1種類のハチ、すなわちミツバチが好まれる」である。空所直後に “for honey” と書かれていることから、空所に入る語句の末尾には “for honey” との相性の良いつながりが成立する語が含まれていると予想できる。5. “meet the rising demand” 「高まりつつある需要を満たす」を入れることで、“demand for ~” 「～に対する需要」という意味が成立する。ここでの for は「要求」を表し、第16段落・空所(9)でも同様のニュアンスで用いられている。

[H]: 7. “need a cheese that melts” 「溶けるチーズを必要とする」

第21段落の最終文で、Melibio社がチェーン店のレストランへの販売が検討している旨が書かれている。続いて、空所を含む第22段落で、「非常に特別なやり方で～するピザハットやマクドナルドのようなところを考えると、**溶けやすく**実際にヴィーガンであり、調理中に油やでんぷんに変わることはない**チーズ**を手に入れることは難しいだろう」と書かれている。これを Melibio 社の販売戦略が間違っていないと幹部が考えている発言として考えるとよい。そうすると、空所にはピザハットやマクドナルドで出されるチーズを含む商品の特徴にあてはまる内容を選ぶとよい。したがって「溶けるチーズを必要とする」が入ることが予想できる。

[I]: 8. “produce a perfect copy” 「完全なコピーを生産する」

第26段落の空所を含む文のおおよその意味は、「例えば、ハチミツの場合は、生産がマヌカハニーの～に合わせられることができない理由はない」となる。その前の第25段落で、「発酵ベースの食品の興味深い可能性の一つは、本物よりも質の良い製品を作れるというものである」とある。この例として、空所を含む文が続いていると考えると、空所には、「マヌカハニーの本物そっくりの製品を作る」というような内容が入ると予想できる。

[J]: 3. “eat honey again” 「再びハチミツを食べる」

第30段落の空所を含む文のおおよその意味は、「その一方で、マンディッチ氏は再びハチミツをたべるようになってきている。いまはほんの少量であるにしても」となる。次の第31段落に、「私は、2日前に23番目の試作品を味見した」という内容があり、空所には「食べる」内容が入ると予想できる。

2[空所補充] 「空所(1),(4),(7),(9),(10)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び、その前置詞を解答欄に書け。なお同じ語を2回以上使ってはならない」

(1) “~ to create a type of honey, identical to the natural kind in every molecule, but produced without involving any bees at all.”

「分子としては全く天然のものと同ーだが、一切ミツバチを関与させずに生産されるようなハチミツを作り出すこと」

空所直前に kind とあるため、of が正解と考えるかもしれないが、それだと「あらゆる分子の自然種」という意味となり、文意を成さない。ここでは、「構造は本物のハチミツと同じだが、ミツバチが関与しないハチミツの代替品を作る」という文脈であると判断できるかどうかポイントである。

なお、第24段落第1文に “It is molecularly identical, so it should be the same,” 「分子的には同一であるから、同一物であるはずだ」という記述があることも解答のヒントとなる。

- (4) “~ in terms of flavour, texture, or ease of use.”

「味や舌ざわりや使い勝手の良さの観点から」

ease (4) use で「使用の容易さ (使い勝手の良さ)」と考えて、of を入れる。

- (7) “~ hoping to become the world’s largest egg protein producer by 2028.”

「~2028年までに世界最大規模の卵タンパク質の生産者になることを目標としている」

空所直後に年号が書かれており、将来の目標が書かれていることから、「~までに」を表す by が正解である。

- (9) “Meanwhile, the world’s appetite for honey is harming many species of bee, says Mr Mandich.”

「その一方で、世界中の人々がハチミツを食べたいと思うことで、多くの種類のハチに害が及んでいるとマンディッチ氏は述べる」 “appetite for A” で「Aに対する欲求」という意味となる。

- (10) “~ but is confident that it will be able to produce at scale, and is looking to sell to restaurant chains.”

「(Better Dairy 社は) 大量生産できると確信しており、レストランチェーン店に売り出すつもりでいる」 “at scale” で「大規模に」という意味となる。

3 [空所補充] 「下線部の語句が『十分ではない』という意味になるように、空所(2)と(3)に語句を入れよ」

解答は(2)が up, (3)が to 。 <up to scratch>で「基準に達して」という意味。

4 [活用変化] 「空所(5)の動詞を適切な活用形にせよ」

- (2) “Through the process of fermentation, micro-organisms digest a food supply and excrete a useful product — yeast, for example, is (5) sugars and produces alcohol to make beer .”

「発酵によって、微生物が食料を消化し有益な物質を排出する。例えば酵母は、糖を与えられてアルコールを生産し、ビールを生み出す」

解答は “fed” 。 feed は第4文型でも用いられ、<feed A B> 「AにB(食物)を与える」となる。文全体の構造を確認すると、yeast がダッシュ以降の文の主語となり、is と空所(5)の部分が yeast の述語動詞であり、空所直後の sugars がこの述語動詞の目的語であることがわかる。<A is fed B> 「AがBを与えられる」とすれば、「酵母が糖を与えられて」となり、酵母が糖を分解してアルコールを生み出す過程を説明できる。

5 [対義語選択] 「空所(6)の単語を置き換えると文の意味が変わる単語を、次の4つの選択肢から1つ選べ。残りの3つの選択肢は意味に根本的な変化をもたらさない。解答用紙に選択した単語を書いて答えよ」

解答は “forefront” 。 “~ with San Francisco-based Clara Foods on the (6: brink) of mass production...” 「~、サンフランシスコを拠点とする Clara Foods 社は、大量生産を目前としており…」 <on the brink of~> で「~に瀕して、~しかかって、~の一手手前で」という意味である。 <on the forefront of ~> だと「~の最前線にあって」という意味で、これを入れるとすでに大量生産が行われているという意味になるので不可。 cusp, verge はいずれも brink 同様に「端、先端」という意味である。

6 [空所補充] 「本文の内容にもとづいて、次の文を完成させるのに最も適切な単語を書け」

解答は “animal” 。 “A ‘vegan’ is someone who abstains from consuming animal-delivered products.” 「ヴィーガンとは、動物由来の製品を消費するのを控えている人のことである」第2段落第1文と第2文に「ある食品が食べられないのはヴィーガンにとって珍しいことではない。だが、珍しいのは、マンディッチ氏がとった解決策であり、それは分子としては天然のものと全く同一だが、一切ミツバチを関与させずに生産されるようなハチミツを作り出すことである」とあることから、ヴィーガンがハチミツのような動物由来の食物を食べない人々だと予想できる。

7[空所補充] 「下線部の語句が『組み合わせる』や『合計して』という意味になるように、空所(8)に語句を入れよ」

between には「～をみんな合わせて」という意味がある。them は“meat and dairy”を表す。“According to the UN's Food and Agricultural Organization, meat and dairy between them account for 14.5% of global greenhouse gas emissions.”「国連食糧農業機構によると、肉と乳製品とは合計して全世界の温室効果ガス排出の14.5パーセントを占めている」

III

1[内容一致・不一致] 「本文に従い、以下の文が正しければ“O”を、間違っていれば“X”の文字をそれぞれ自分の解答用紙に記入せよ」

- ① X「日本は、社会の高齢化によって引き起こされる問題を緩和するために**寿命を短くする**方法を見つける点で主導的な働きをすることを期待されている」
第2段落に、「日本は超高齢化社会によって引き起こされる社会的、経済的、医学的な問題に取り組む方法を編み出す最前線にいる」とあり、部分的に合致するが、本選択肢中の“lower longevity”の部分が本文中に記載がないため、この文内容は誤りである。
- ② O「ロボットは、身体的能力が低下した高齢者に、彼らが移動するのを助けたり、個人の衛生の面で補助したりすることによって、支援を提供することができる」
第5段落から第7段落に介護用ロボットの説明があり、特に第6段落にロボットの種類として“assistive robots for personal mobility; toiletry assistance robots; bathing assistance robots”「個人の行動の支援用ロボット、トイレの支援用ロボット、入浴支援用ロボット」が書かれている。本選択肢の内容はこれらを言い換えていると判断でき、この文内容は正しい。
- ③ X「本物のペットではなくロボットのペットを使うことの利点の中には、それらは食事を与えられる必要がなく、トイレに行く必要もなく、**挑発されない限りはひっかくこともない**というものがある」
第12段落第4文に「例えば、ロボットのネコは、食べ物も水も排泄箱もいらず、少しきつめにぎゅっと抱きしめてもひっかかない」とある。この内容から考えて、本選択肢中の「挑発されない限りはひっかくことはない」という部分について、挑発されてもおそらくロボットのネコはひっかくことはないと考えられるため、この文内容は誤りである。
- ④ X「安全を守るため、一人暮らしの高齢者が支援用ロボットの監視・追跡機能のスイッチを切るときは**必ず介護者の同意がなければならない**」
第16段落第1文に「もし、本人が監視・データ追跡機能のスイッチを切ることができなければ、同意とプライバシーの問題が生じる」とある。さらに、同段落第3文に「善意の介護者は、特に独居老人に対して危害が発生するリスクを減らしたいと思うことが多いのだが、侵害的なテクノロジーは家庭を病院か監獄のようにしてしまう可能性がある」とある。本選択肢にあるような、「介護者の同意を得なければならない」という内容は、本文から読み取れず、同意はむしろ介護者ではなく本人の同意と考えることができるため、この文内容は誤りである。
- ⑤ O「新しいテクノロジーを開発している専門家と技術者は、彼らがターゲットとする利用者のニーズと選好を十分に理解することなく（製品の開発に）夢中になってしまうと、新しく開発された製品はうまくいかない可能性が高く、その製品が対応することを目的としている問題を、未解決のままにしておくことになる」
第18段落と第19段落が該当箇所になる。第18段落は「認知症のような症状を持った高齢者や人々の意見や選好を理解することは極めて重要である。技術開発者は、ロボットとその他の先端技術を使った新しい商品に対する情熱と、認知症を患って生活している人々の選好との間のずれを批判されることがある」という内容であり、第19段落半ばに、「利用者のニーズが技術開発の原動力とならないと、新しい製品は現場に取り入れられにくく、満たされないニーズが残る結果となる」とある。これより、この文内容は正しい。

- ⑥ ○ 「認知症の人々が技術開発に参加するために、乗り越えるべき障害はあるけれども、彼らが大切だと思ふことに関して自分の意見を表現することができるようにするために、努力を払わなければならない」第 25 段落が根拠となる。そのおよその意味は「認知症の人々が研究にかかわる際には、倫理的また実際の複雑さがある。しかし、彼らを頭から排除すべきではない。支援戦略は、自分にとって何が重要であるかについて、認知症の人々が意見をもつ能力を最大化することができるのである」とある。ここから考えて、この文内容は正しい。

2[空所補充] 「空所(1), (2)に同じ英単語を入れよ」

空所(1)を含む第 3 段落第 2 文

- (1) : Other countries are jumping (1) board with initiatives to incorporate service robots into dementia care.
jump on board 「飛び乗る」

空所(2)を含む第 4 段落第 2 文

- (2) : Technology, after all, should be for and by people, not imposed (2) them.
impose A on B 「A を B に課す」

3[部分和訳] 「*'dementia'* に相当する日本語を書け」

dementia で「認知症」という意味である。

4[文中語句整序] 「角カッコ[3]内の語および語句を適切な順に並べ替えよ。語句のそれぞれを正しい順序で解答欄に書け」

- [3] : (Most importantly, finite research resources must be spent wisely, with meaningful involvement of) those who are intended to benefit from (new therapies and products.)

“those who” という表現を予想して節内の動詞を考える。<be intended to do ~> 「~することを目的とした、~用の」というフレーズが構成できる。さらに続く不定詞としては <benefit from ~> 「~から利益を得る」が残り、後続の名詞ともうまくつながる。

5[単語抜粋] 「本文によれば、認知症患者を介護することで人間の介護者は経験するが、ロボットは経験しない 2 種の否定的感情は何か。英語 2 語で記述せよ。(順序は問わない)」

第 12 段落第 2 文が根拠となる。その 1 文のおよその意味は「ロボットはストレスや燃え尽き経験せず、他にも実用的な利点がある」である。

講評

- I [長文] (標準) 「障がい者対応の IC カードがないことによって生じる不都合」に関する英文。文章内容、各設問とも標準的だが、内容一致問題には、一部判断しにくいものも含まれる。
- II [長文] (やや難) 「発酵を用いたヴィーガン食品の製造」に関する英文。問題文の語数は 2021 年度前期大問 II に比べて大きく減ったが、文中語句挿入などの新形式、難度の高い設問もあり、高得点は難しい。
- III [長文] (標準) 「介護ロボットの長所と短所」に関する英文。語数は 2021 年度前期の大問 I と同等。内容は平易で、出題形式もほぼ例年通り。大問 3 つの中では最も得点しやすい。

大問構成、分量は昨年度前後期とほぼ変わらず。しかし、設問形式には変化が見られ、問われている知識は受験レベルを超えたものも含まれており、手が出ない受験生が多いだろう。内容一致問題を確実に得点できるかどうか合否を分ける。目標は 70%

本解答速報の内容に関するお問合せは

医学部進学予備校 **メビオ**

☎ 0120-146-156 受付 9:00~21:00(土日祝可)
大阪市中央区石町 2-3-12 ヘルヴォア天満橋
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **YMS** ☎ 03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



友だち追加で全科目を閲覧!
LINE 公式アカウント

◀ メビオの友だち登録はこちらから

<< 2022 年度入試を最後まで走りきるために! >>

膨大な過去問分析データを反映、精度の高い的中問題!

金沢医科大学 [後期] 模試 2.11 (金)

科目 英/数 申込締切 2月8日(火) 20:00
会場 エル・おおさか 大阪市中央区石町2-5-3

関西医科大学 [後期] 模試 2.16 (水)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月13日(日) 20:00
会場 AP 大阪茶屋町 大阪市北区茶屋町1-27

対象 医学部受験生・新高3生 料金 6,600円(税別)

※内容は一部変更の可能性があります。時間割の詳細はHPでご確認ください



医学部 後期攻略講座

2月6日~3月7日 大阪/名古屋会場(金沢・藤田対策のみ)

- 大阪医科大学 テストゼミ/全2授業(大阪会場)
- 関西医科大学 全8授業(大阪会場)
- 近畿大学医学部 全8授業(大阪会場)
- 金沢医科大学 全8授業(大阪会場)(名古屋会場)
- 藤田医科大学 全4授業(大阪会場)/全6授業(名古屋会場)
- 久留米大学医学部 全8授業(大阪会場)

◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください

※内容は一部変更の可能性があります。時間割の詳細はHPでご確認ください

医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル ☎ 0120-146-156 [受付時間] 9:00~21:00

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ヘルヴォア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分

2022年度より特待制度を新設します
条件によって学費を50~90%減免。
詳しくはお問い合わせください。